

ぶつかったときに、どうすればいいのか考え自然と行動に移せるといったところも、日体生の強みなのではないでしょうか。学力や知識というものも当然必要ですが、それを補うだけのバイタリティが日体生にはあると感じております。

当社に目を向けてみると、日体大を出て、支店長や推進部長など会社を引っ張っていく存在となっている方もおります。私が企業人（銀行員）となつて感じたことは、スポーツ以外の場所でも日体大で培ってきたものは必ず役に立つということだと思います。つまりどのような環境、分野においても、周りに左右されずにそれらを発揮できればきっと輝くことができると思っております。日体生だからといって「とりあえず教員志望」とりあえず公務員志望（消防、警察）に縛られることはありません。本気で教員や公務員を目指しているわけではないのであれば、もっと視野を広げてみるのも選択肢の一つだと思います。可能性は無限にありますし、自分でそれを制限する必要は全くありません。

現在私は当社のコア事業である個人融資の営業社員として働いております。まだまだ銀行員としては未熟ではありますが、日体大で培ったこととプラス、銀行業務をしつかりと身に付け、日々成長していきたいと思っております。



## 第21回 県総会・懇親会

(平成27年11月28日/浜松市)

### 編集後記

前庭の石楠花（シヤクナゲ）が昨年は一輪しか咲かなかったのに、今年は十数輪が一気に開き、道行く人が「きれいだね」と声を掛けて下さいました。山茶花（サザンカ）の下に、ひっそりしていますが夏場に水を多めに与えたのが良かったのかも知れません。本年度も同窓会費を納入していただき有難うございました。お陰様をもちまして「日體」第三十二号を発行する事が出来ました。ご多忙の中、執筆者の皆様に心よりお礼申し上げます。

今年は、役員改選期と重なり、四月発行を六月発行に変更させて頂きました。一部関係者のご了承を得ずやった事、お詫び申し上げます。

松田新会長の元、創立一二五周年となる母校の発展を支えていきましよう。会報は、会員のつながりを強めるとともに同窓生の様子や同じ釜の飯を食った仲間が各方面で活躍している事などを知る大切な役目を担っています。この役割を継続していく為にも、会員の皆様が会費を納めていただく事を改めてお願い致します。とりわけ若い世代のご支援が今後の同窓会活動にとって必要不可欠となります。重ねて年会費の納入をお願い致します。

この同窓会報の編集員を募集しています。色んな競技種目の方々や交流を持ってみたいとお考えの方、事務局アドレスへご連絡をお願いいたします。